



地域の実情にあった課題解決へ ごみ被害減少へ一定の効果あり

見てますよ！不法投棄抑止のまちづくり事業

今年度から重点メニューとなつた、「見てますよ！不法投棄抑止のまちづくり事業」に福山市から2件の申請があり、取材しましたので紹介します。

神辺町御野 学区公衛協

周辺にカメラとオリジナルの看板を設置し田結果、不法投棄は減少しているとの報告をいたしました。

今津地区公衛協

公衛協は、堂々川河床同好会が取り組んでいる堂々川の砂溜堤に「ホタルを飛ばす花を植えて不法投棄の監視の目を増やす」「小學生と一緒に彼岸花を植え、ごみを拾う」取り組みに協力しています。

砂溜堤周辺は、長年の取り組みにより、花やホタルを楽しみに多くの方が訪れるようになりました。一方で以前から、タバコの吸い殻、弁当殻、空き缶・ペットボトルなどの生活片など、不法投棄が続いていました。そのため、公衛協ではこの事業を活用して砂溜堤周辺に設置された事例で、国道2号線の高架下に年4回の回収を行っている燃える粗大ごみ置き場があります。このところ燃えない粗大ごみが捨てられたり、指定された日以外にごみが出されるなどマナーの悪化が問題となっていました。

日中は、人通り・車通りがある場所のため、夜間に地域外の方が投棄されていることが疑われています。これまで看板の設置などを



県は、食品衛生基準を満たした製造・加工施設について、独自に認証する制度を実施しています。適合した施設は、商品に「認証マーク」を貼ることができます。当協会は認証機関として、食品衛生管理の認証・更新審査や指導などを行っており、このシリーズでは、当協会が認証した事業者の声を紹介し、食品衛生管理の重要性を伝えていきます。

インスタント食品やお菓子、おつまみなどの袋詰めと異物や規格外品の選別、除去の二つの業務を行っています。特に創業当時から、ちりめんなどの海産物に含まれる異物除去を中心に、安全・安心を支えています。

多くの企業が、海外選別は、まず金属探知や色彩選別、エラクス



(2) 株式会社 佑善

登録日: 2005年3月29日
所在地: 福山市新涯町1丁目8番26号
創業: 平成6年9月
話し手: 常務取締役・食品衛生管理者
宮地聰子様 (右)
SCM本部品質保証課課長
伊達裕美様 (左)

国内シェア90%の異物除去 海外実習生には視覚で周知

で食品の選別作業をされていますが、どうしても異物を除去しきれないないと相談を頂きました。お取引先に納得いただける衛生管理をしていることを示すために認証を取得しよう

講演会のあり方と感じた仕組みでした。

テラス」を会場とし、

コロナ禍のため参加人

数を20人程度に限定し

たために、すぐに満席

になりました。今回は、

会場参加だけでなく、

オンラインを使っての参

加もできるようにした

ため、日本各地だけで

なくカナダ、メキシコ

にいる日本人の方も参

加するなど、このよう

な状況だから生まれた

講演会のあり方と感じた

仕組みでした。

講演で谷口さんは、

世界で起きている地球

温暖化の影響による干

ばつ、生態系の変化

についてわかりやすく説

明されました。この活動を始めたきっかけは、昨年見たイギリスでの気候変動か

ら地球を守るには、い

まから18ヶ月後の行動

と選択にかかるつている

講演で谷口さんは、

世界で起きている地球

温暖化の影響による干

ばつ、生態系の変化

についてわかりやすく説

明されました。この活動を始めたきっかけは、昨年見たイギリスでの気候変動か

ら地球を守るには、い

まから18ヶ月後の行動

と選択にかかるつている

JFSS-B 規格
認証取得のきっかけ
■ 業務内容
■ 卫生管理のこだわり
■ 今後のステップアップ

認証取得にあたり、衛生管理手法について従業員が集まり協議したことは、衛生管理の向上と共に、組織づけられています。

専門の企業として国内食品全般の異物除去率を誇り、これからもJFSS-B規格取得を目指していきます。

異物や規格外品の選別・除去、検品、袋詰めという作業は地味な仕事と思われるがちですが、安心して食品を食べるためにはなくてはならない仕事です。

JFSS-B規格取得を目指していきます。

消費者の皆さまへ

次のステップは、JFSS-B規格取得を目指していきます。

異物や規格外品の選別・除去、検品、袋詰めという作業は地味な仕事と思われるがちですが、安心して食品を食べるためにはなくてはならない仕事です。

JFSS-B規格取得を目指していきます。

異物や規格外品の選別・除去、検品、袋詰めという作業は地味な仕事と思われるがちですが、安心して食品を食べるためにはなくてはならない仕事です。

異物や規格外品の選別・除去、検品、袋詰めという作業は地味な仕事と思われるがちですが、安心して食品を食べるためにはなくてはならない仕事です。

異物や規格外品の選別・除去、検品、袋詰めという作業は地味な仕事と思われるがちですが、安心して食品を食べるためにはなくてはならない仕事です。

異物や規格外品の選別・除去、検品、袋詰めという作業は地味な仕事と思われるがちですが、安心して食品を食べるためにはなくてはならない仕事です。

谷口さんは、「みんなが知れば必ず変わる」

「人の100歩よりもいい歩み」

「みんなの1歩」「気候変動はチャンス」の3つの

希望が大切という考え方

から、スウェーデンのグ

レタさんら若い人たち

の思いと実際の活動を

説明されました。